

第3号様式（第6条関係）

2024年9月20日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

(宛先)

戸田市長 殿

団体名 みるくらぼ

代表者職・氏名 代表 鈴木あい

所在地



事業名	学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちの居場所づくり	
SDGs の 該当ゴール	SDGs 4：質の高い教育をみんなに SDGs 17：パートナーシップで目標を達成しよう	
確定前交付の希望	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	
ホームページ	https://milkclub.jimdofree.com	
設立年月日	2023年 4月 5日 設立	
会員数	3人	
年会費	なし	
団体の目的	<p>団体の開催するイベントやワークショップの活動が、学校以外の居場所の選択肢の1つとなり、学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、将来への希望や生きるエネルギーを得ることを目的とする</p> <p>学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、自発的にいきたいと思える居場所になることを目標とする</p>	

<p>主な活動実績</p>	<p>【2024年3月29日】 対象の子ども向けにアイシングクッキーワークショップを開催。2名の対象小中学生が参加。今後もお菓子作りのワークショップがあったらぜひ参加してみたいと、参加者からの希望がありました。</p> <p>【2024年5月8日、6月5日、7月8日、9月9日】 対象の子ども向けに、対戦型ゲームのイベントを開催。各回5名～7名の対象小中学生が参加。子どもたちが自発的に楽しむ様子が見られました。普段学校では感情を表に出しにくい男の子の笑顔も見られました。また、保護者同士で、中学校進学のこと、行き渋りの子どもの様子などを共有して話す様子がありました。</p> <p>【2024年7月29日、8月7日】 対象の子ども向けに、「ほっと広場」を開催。各回3～4名の対象小中学生が参加。子どもたちの要望で、カードゲームやボードゲームなどで自発的に楽しむ様子が見られました。同時開催として、オープンDAYと称した、みるくらぼの活動を知って頂くための無料開放時間を設けました。対象中学生の保護者や、居場所活動に興味のある社会人の方が見学に来られました。</p>
<p>これまでの補助金等の援助状況</p>	<p>なし</p>
<p>団体PRなど</p>	<p>当事者（学校へ通っていない子ども）の親が団体の代表を務めています。子どもと接する日々を通して、家以外でも気兼ねなく過ごすことが出来る場所があったらいいな、と思ってきました。家でも学校でもない、コミュニケーションの場所としての居場所づくりをしています。</p> <p>実際に参加してくれた子どもたちの様子を見ながら、柔軟に対応できるところが団体の強みであると思います。</p> <p>今まで、戸田市にありそうでなかった、不登校支援の場を作っていきます。</p>

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDG s の該当ゴール：

SDG s 4：質の高い教育をみんなに

学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、非認知能力の形成の機会を持てるような居場所づくりをする

SDG s 17：パートナーシップで目標を達成しよう

学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、多様な学びの選択肢を得られるようにする

2 事業の具体的内容

学校に通っていない（または学校が苦手な）子どもたちのための居場所づくりのために、彼らが興味を持てる内容のイベントを開催する。

1. イベント内容

(1) 【冬休み】ほっと広場

冬休みに、ゲーム大会をしたり、宿題や勉強をしたり、ボードゲームなどができる、ほっと出来る場所として開催する。

安心して行きたいと思える場所があることで、子どもの生きる活力になり、と同時に、保護者の方がほっとひと息つけることを目的とする。

時間を前半と後半の2部に分けて、それぞれに参加者を募集する。

同時開催として、オープン DAY と称した無料見学会も開催。活動の周知を図る。

定員：8名×2部＝16名 参加費：1人につき200円

日時：学校の冬休み期間に1日開催

14：00～19：00（14：00～16：30、16：30～19：00の2部制）

(2)料理教室 講師：宇治小枝子さん

フライパンひとつで出来る、手軽な料理教室を開催する。フライパンひとつで、包丁も使わずに出来るナポリタン&マグカップケーキ作りを学ぶ。

自分の食べるものを自分で作れるようになることを目指し、子どもたちの生きる力を養うことを目的とする。また、旬の食材や、食材の栄養価などが自然と学べる内容を提供することで、食への興味や関心を促すことを目的とする。

定員：8名 参加費：1人につき300円

日時：10月12日（土）10：30～13：00

(3) コミュニケーションマジック講座 講師：ふたみさん

マジックのやり方を取得し、見てくれる人（家族や友人）とのコミュニケーションをとりながらマジックを見せる楽しみを知り、他者も楽しませることが出来るようになることを目指す。主体的に学び、コミュニケーションをとる楽しさを体験できることを目的とする。また、講師のプロのマジシャンの技に触れ、多様な職業への興味関心を促すことを目的とする。

定員：10名 参加費：1人につき1000円

日時：11月

(4) お菓子教室 講師：稲川典子さん

ケーキデコレーションのやり方を学ぶ。自由な感覚でデコレーションすることで芸術的センスを養うことや、持ち帰ったケーキを家族や身近な人に喜んでもらうことで、自分に自信が持てるようになることを目的とする。

定員：8名 参加費：1人につき300円

日時：1月

2. 対象者

小中高生とその家族を対象とするが、子どもだけの参加も受け入れる。

3. 開催場所（予定）

- (1) 上戸田地域交流センターあいパル 多目的室
- (2) 上戸田地域交流センターあいパル キッチン
- (3) 上戸田地域交流センターあいパル 多目的室
- (4) 上戸田地域交流センターあいパル キッチン

4. 周知方法

- ・団体のホームページ、SNSで周知を図る。
- ・市内で引きこもりや不登校に悩む当事者やその家族が集う場所として活動している団体（戸田市社会福祉協議会にて開催している、とまり木サロン）との連携を図ることを視野に、チラシの配架を依頼する。
- ・その他、広報戸田市、市内公共施設へのチラシの配架及び掲示、戸田市公式SNSへの掲載、戸田市ボランティア・市民活動支援センターホームページへの掲載、民間店舗へのチラシの掲示などを行い、周知を図る。

5. 実施体制

みるくらぼ会員3名

協力者（保育士）1名

- ・イベントの参加申し込み時に、対象の子どもの現在の状況や、子どもの特性により配慮してほしいことなどを保護者からヒアリングし、子どもにとってストレスのない環境でイベントに参加出来るように考慮して、イベントを実施する。
- ・周知のためのチラシには、必ず「学校へ通っていない（または学校が苦手な）こどもが対象」あることを明記し、必要な子どもや家庭に情報が届くように努め、イベントを実施する。

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
10 月	料理教室打合せ
10 月 12 日	料理教室
11 月	コミュニケーションマジック打合せ
11 月	コミュニケーションマジック講座
11 月	お菓子教室打合せ
12 月	【冬休み】ほっと広場
1 月	お菓子教室

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

- ・イベントは、各回8名前後の少人数で開催。子どもたちが安心して参加出来る様に配慮し、学校以外の居場所の選択肢の1つとなることを目指す。
また、イベントに参加した子どもたちが、将来への希望や生きるエネルギーを得られるようにする。
- ・対象は小中高生。さまざまな年代の子たちが交流することで、コミュニケーションの楽しさを伝え、感じてもらう。
- ・1～2ヶ月に1回程度の開催で、子どもたちに無理なく、かつ日々を送るなかでイベントを楽しみにしてもらえよう配慮する。
- ・市内でひきこもりや不登校で悩む当事者やその家族が集う場所として活動している団体との連携を図り、同じ思いを感じている方たちを繋ぐ機会を提供する。
- ・イベントやワークショップの開催後、参加者にアンケートを実施し、今後のイベントやワークショップ内容の精査のために活用する。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補 助 金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		6,208	
会費		0	
利用者負担金		18,000	【冬休み】ほっと広場：200円×8名 ×2回、料理教室：300円×8名、コ ミュニケーションマジック講座：1000 円×10名、お菓子教室：300円×8名)
協賛金・寄附		0	
その他		0	
合 計		74,208	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳
補助 対象 経費	謝礼金	30,550	協力者への謝礼金（ほっと広場 5,500 円、料理教室 3,850 円、コミュニケーションマジック講座 3,850 円、お菓子教室 3,850 円） 講師への謝礼金（料理教室 4,500 円、コミュニケーションマジック講座 4,500 円、お菓子教室 4,500 円）
	消耗品費	3,988	紙、文房具など
	食糧費	4,800	ほっと広場の景品・お土産代（300 円×16 名分）
	原材料費	11,000	料理教室・お菓子教室の材料（5,000 円×2 回=10,000 円）、コミュニケーションマジックの材料（100 円×10 人=1,000 円）
	印刷製本費	8,500	チラシ・書類印刷代（戸田市ボランティア・市民活動支援センターTOMATO の印刷機を利用/パソコンからのプリントアウト/カラー1 枚 50 円×150 枚、白黒 1 枚 10 円×100 枚）
	使用料	15,370	会場使用料（ほっと広場：上戸田地域交流センターあいパル多目的室 510 円×5 時間=2,550 円 カラオケ装置 500 円 / コミュニケーションマジック講座：上戸田地域交流センターあいパル多目的室 640 円×3.5 時間=2,240 円 / 料理教室・お菓子教室：上戸田地域交流センターあいパルキッチン 1,440 円×3.5 時間×2 回=10,080 円）
小 計		74,208	内 訳 補助金申請額：50,000 自主財源：24,208
補助 対象 外 経費			
小 計			
合 計		74,208	

補足

現在、戸田市内中学校での不登校の人数は、全体の 3.77%（令和 5 年）となっています。つまり、1 クラスに 1 人～2 人は、学校へ来ていない子どもがいる現状です。子どもが不登校となる背景は 1 人ひとり異なり、それぞれに抱えているものも違います。ただ、学校へ通っていない（または学校が苦手である）ことで、人と人とのつながりを感じる機会をあまり持たない日々を送っていることは、どの子どもにも言えることだと思います。

戸田市が力を入れている不登校児童生徒を支援する総合的な構想「戸田型オルタナティブ・プラン」のなかに、「学校復帰のみを目指すのではなく児童生徒の社会的自立を促すことを目標として、『誰一人取り残されない』教育を実現するために、不登校対策に重点を置いた取り組みを進める」とあります。

当団体「みるくらぼ」は、子どもたちが人と人とのつながりを感じる機会を提供しています。当活動に参加することで、子どもたちが未来への希望を持ち、自分のタイミングで社会的自立へと向かえるように、そのひとつの手助けとなれるように活動しています。